

株式会社鈴木家具店

■所在地 豊川市

■業種 生活雑貨及び家具、インテリア小物等の小売販売

■従業員数（H24.9.30現在） 男性28人、女性73人



トップから一言

代表取締役社長 鈴木 勝 氏

弊社は、home's、CONCEPT、ligne roset と業態は分かれますが、いずれも生活を楽しくステキにすることをモットーに、生活雑貨及び家具等を取り扱っています。「楽しくステキな生活」をお客様に提案する会社のスタッフが家庭生活を楽しめていなくては、本当の提案はできません。そこでワークライフバランスを整える制度をつくることから着手しました。

制度は実際に活かしていかななくては、意味がありません。今まで以上にスタッフ一人ひとりが、家庭生活、自分の時間を有効に過ごすことで、仕事でも力を発揮していってくれることを期待しています。

両立支援の取組

弊社は以前、家具店とホームセンターで成り立っており、男性が多かったせい時代時代のせいなのか、有給休暇の取得もままならない雰囲気の家でした。しかし会社の業態も生活雑貨を軸へと変わり、女性も増え、より男女問わず働きやすい職場が求められるようになってきました。そこでリフレッシュ休暇の導入、残業時間削減の取組を通し、昔の働き方から変化させてきました。そのような中で、次世代育成支援対策推進法ができ、これに積極的に取り組むことで、より暮らしと仕事を両立させていけるよう進めることにしました。取組の中でリフレッシュ休暇に加えマイホリデーの拡充、配偶者出産休暇の制定、子の看護休暇の拡充を進めました。また今まで育児休業取得者が一人もいなかった弊社でも女性4名男性1名の弊社初の育児休業取得者ができました。残業時間の削減、有給休暇の取得拡大も徐々に進んできています。

これからも、一人ひとりが十分力を発揮できるよう、家庭も職場も充実していけるよう工夫をしていきたいと考えています。

男性育児休業者からの一言

CONCEPT 安城店 店長 濱田祐輔 氏
取得日数（育児休業）：5日間

会社からの育児休業推進の取組みの中、多店舗からの販売応援などの援助もあり、気兼ねなく、育児休業を取得させて頂きました。

第1子の10ヶ月の長男と妻との3人でマンションに暮らしている為、少しでも妻の育児や家事などの負担を減らすことが出来ればと思い取得しました。

育児休業中は育児全般、家事では食事の支度やお皿洗いなどを行いました。妻の大変さがとても分かり、妻への感謝の気持ちも大きくなった育児休業でした。

育児休業制度を利用し、以前よりも育児の楽しさを知る事ができたので、今後も出来るだけ育児を手伝い、妻と2人で楽しく育児をしていきたいと思えます。

みなさんの協力などで、この制度を利用させて頂き本当に感謝しております。



株式会社鈴木家具店

1. 認定を受ける対象となった一般事業主行動計画の内容

1. 計画期間 平成22年3月1日から平成24年2月28日までの2年間
2. 内 容
 - 目標1 計画期間内に女性育児休業の取得率を70%以上にする
 - 【対策】 平成22年3月～：既存の制度の周知をすすめ、さらなる具体的なニーズを調査
 - 平成22年5月～：育児休業制度の拡充
 - 平成22年6月～：新制度について社内ネットや説明会による制度の周知徹底
 - 目標2 男性も育児休業を取得できることを徹底し、計画期間内に1人以上の取得者を出す
 - 【対策】 平成22年3月～：取得を容易にするための育児休業規定を検討する
 - 平成22年5月～：周知・啓発の実施
 - 目標3 子供が生まれるスタッフが出産予定日の前後2週間以内に3日以内取得できる特別休暇（配偶者出産休暇）を導入する
 - 【対策】 平成22年3月～：制度の詳細を検討する
 - 平成22年7月～：社内ネットや説明会による周知・啓発の実施
 - 目標4 子どもの看護休暇制度を拡充し、1人以上の取得者をめざす
 - 【対策】 平成22年4月～：看護休暇の対象となる子の年齢を引き上げる制度の策定
 - 平成22年5月～：制度の周知・啓発の実施
 - 目標5 3歳から小学校に入学するまでの子を持つ従業員を対象として、月の所定労働時間を短縮する制度、申出により所定外労働をさせない制度等を導入し、諸制度とあわせ周知啓蒙する
 - 【対策】 平成22年3月～：ニーズの調査、分析
 - 平成22年5月～：制度の実施、周知
 - 目標6 所定外労働を、平均月15時間以内を目標とする
 - 【対策】 平成22年3月～：シフト制の導入検討
 - 平成22年6月～：制度の周知・啓発の実施
 - 目標7 年次有給休暇の取得率を60%以上を目指す
 - 【対策】 平成22年3月～：正社員のリフレッシュ休暇制度の周知、取得率向上
 - 平成22年5月～：マイホリデー（本人・子供・配偶者の誕生日、結婚記念日など）制度の策定と休暇取得への周知

2. 計画期間中の育児休業等取得者数（男女別内訳）

男性1人 女性4人

3. 認定マークの活用事例（初めて認定を受けた企業においては活用予定事例）

スタッフの名札・名刺、ホームページ、スタッフ募集の案内への使用を予定。

